

システムの障害や問題の発生を  
迅速・確実に知らせたい

**HITACHI**  
Inspire the Next

## JP1/TELstaff AE Professional Edition

JP1/TELstaff AE Professional Editionは、システム運用中に発生した障害や問題を、さまざまな手段でリアルタイムに通知する製品です。

パトロールランプ、電話、メール、チャット、デスクトップでのメッセージ、音声通知による館内・構内放送など、受け手に合わせた通知手段で担当者に異常を伝えます。システムで検知した障害や問題の自動通知や、運用シフトに合わせた通知など、お客さまの運用に合わせた通知システムの構築が可能です。通知先情報や通知方法を一元管理できるため、システムごとに通知設定を管理する必要がありません。また、発信記録などの情報を出力して、通知設定の見直しや改善に活用することもできます。

### ■ 障害や問題の自動通知

業務の異常終了やネットワーク障害など、運用管理製品\*で検知した障害や問題を担当者へ自動通知できます。たとえば、システム内で発生するイベントやログを集中監視するJP1/Integrated Management 2と連携して緊急性の高い事象を通知したり、業務を自動化するJP1/Automatic Job Management System 3と連携して業務の異常終了をいち早く通知したりできます。その他にも、システムの安定稼働を支援するJP1/Performance Managementが検知したパフォーマンス低下などのシステム障害の予兆を、管理者に一齐に知らせるといった運用も可能です。

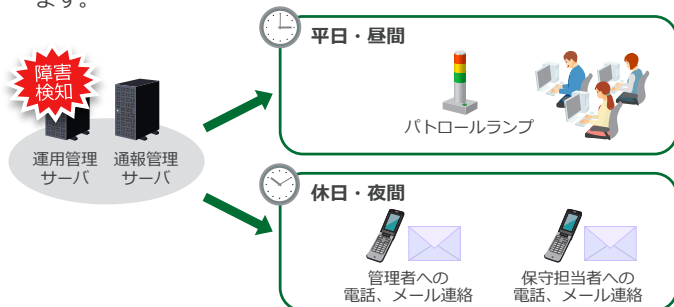
\* 運用管理製品に、事象の検知などを契機に任意のコマンドを実行する機能が必要です。



### ■ 運用に合わせた確実な通知

#### ■ 通知先や通知手段の自動変更

カレンダーや時間帯に応じて通知先や通知手段を自動的に変更できます。たとえば、平日・昼間は職場のパトロールランプを点灯、休日・夜間は管理者と保守担当者に電話とメールで通知するなど、お客さまの運用に合わせた通知システムを構築できます。交代制や自宅待機など、緊急時の体制に合わせて柔軟な運用を実現できます。



#### ■ 通知機器の状態確認

パトロールランプ、メールサーバ、音声合成モデムなど通知に使用する機器が稼働しているかどうかを定期的に監視し、問題発生時には自動的に管理者に通知します。通知機器が稼働していなかったために障害が通知されなかったという事態を防ぐことができるため、通知システムの信頼性を向上できます。また、管理者が定期的に通知機器の稼働状態を確認する必要がなくなり、運用管理コストや管理者の負担を軽減できます。

#### ■ 体制に合わせた連絡網の設定

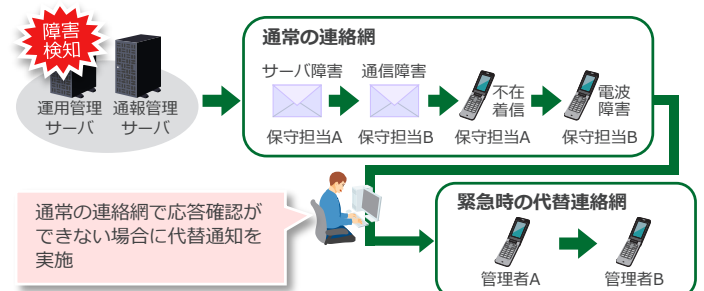
お客さまやシステムごとに通知方法、通知先、通知順を連絡網にまとめられます。連絡体制に合わせた連絡網をあらかじめ設定しておくことで、障害発生時の通知ミスや通知漏れがなくなります。

#### ■ 通知の繰り返し

一時的な通信障害などが発生して通知できなかった場合は、通知を繰り返すことが可能です。連絡網のうち、通知できなかった一部の通知先への再通知や、連絡網全体への再通知もできるので、通知先の担当者が障害の発生を認識していないという事態を防止できます。

#### ■ 応答確認・代替通知

電話やメールの通知を受けた担当者が応答したかどうかを確認できます。通常の連絡網で応答を確認できない場合、別の担当者に代替通知することで、通知の見落としや通知不可状態による対応の遅れを防止できます。

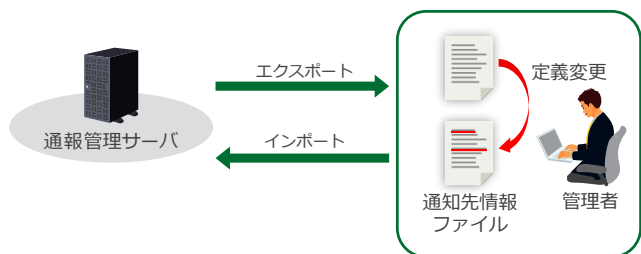


### ■ 運用に合わせた通知内容や通知先の変更

電話やメールなどの通知手段によって通知内容を変えたり、業務の異常終了やネットワーク障害などの通知内容によって通知先や通知手段を変えることができます。また、JP1/Integrated Management 2で検知したJP1イベントの内容をメール本文に記載して通知したり、電話で通知したりすることも可能です。

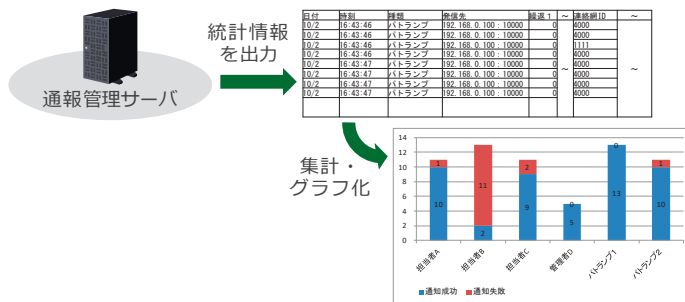
### ■ 通知先情報のメンテナンス支援

メールアドレス、電話番号などの通知先情報をファイルから一括でインポート・エクスポートできるため、組織の変更や担当者の異動などにより通知先情報を変更するときも、効率よくメンテナンス作業がおこなえます。特定の通知先グループや通知先など、一部の情報のみインポート・エクスポートすることも可能です。通知方法、通知先情報はGUIだけでなく、テキスト形式でも定義できるため、お客さまの運用に合わせて登録・変更方法を選択できます。また、変更前後の内容を比較することで、変更箇所、変更内容が正しいことを確認できます。このため、メンテナンス作業の効率と確実性が向上できます。



### ■ 通知結果や通知機器の稼働情報の活用

通知先への発信記録や動作記録などの統計情報をCSV形式で出力できます。表計算ソフトウェアなどで発信日時や発信頻度、電話やメールといった通知先ごとの成否回数を集計したり、グラフ化することができます。また、統計情報を分析することで通知システムの改善が図れます。



### ■ 利用可能な通知手段\*

通知手段	補足
パトロールランプ	対応機器はお問い合わせください。
電話 (光回線を含む)	関連機器、ソフトウェア、電話回線契約が必要です。
メール	SMTP通信が可能なメールサーバが必要です
チャット	対応ソフトウェア・サービスはお問い合わせください。
デスクトップでのメッセージ	通知先PCにはJP1/TELstaff AE Professional Edition Alarm Viewが必要です。
音声通知	日立ソリューションズ・クリエイト社「ボイスソムリエ」が必要です。

\* 詳細は別途お問い合わせください。

### ■ 標準価格 (買い取りタイプ・Windows版)

製品名	標準価格 (税別)
JP1/TELstaff AE Professional Edition 300 Users	564,000円*

- \* 通知先ユーザー数が300の場合の価格です。通知先ユーザー数が1,000、2,000の場合は価格が変わります。
- ※ 別途、製品プログラムの費用として、1,000円 [標準価格 (税別)] が必要です。
- ※ サポートサービスにつきましては、別途ご契約いただく必要があります。
- ※ 製品の使用权とサポートサービスを1年ごとの契約でご利用いただける「サブスクリプションタイプ」もございます。

・本カタログで紹介しているJP1/TELstaff AE Professional Editionは、日本でのみ販売している製品です。JP1/TELstaff AE Professional Editionとは、JP1/TELstaff AE Professional Edition 300 Users、JP1/TELstaff AE Professional Edition 1000 Users、およびJP1/TELstaff AE Professional Edition 2000 Usersの総称です。

- ・TELstaffは、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。
- ・Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ボイスソムリエは、株式会社日立ソリューションズ・クリエイトの登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

- 本カタログに記載している価格は、2021年3月現在の日本で販売する場合の標準価格です。
  - カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
  - マイクロソフト製品のスクリーンショットは、マイクロソフトの許可を得て使用しています。
  - 製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
  - 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
- なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

### 製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト  
<https://www.hitachi.co.jp/jp1/>
- インターネットでの問い合わせ  
<https://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>
- 電話でのお問い合わせはHCAセンターへ  
☎ 0120-55-0504 受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日・当社休日を除く)

